

# 配電線自動化親局装置(スケルトン/統一仕様タイプ)

配電線自動化親局装置(以下、親局装置)は高圧配電線(6.6kV)の運用・維持・管理を目的に、配電線系統に設置してある子局制御装置を遠方にて監視/制御する装置である。

当社においても、従来より、スケルトンタイプの親局装置を中部電力(株)に多数納入している。

スケルトンタイプの親局装置は、製造メーカー毎の差異をなくすため、統一仕様に基づき製作されている。

このたび、統一仕様に基づき、メーカーサイドでの性能/信頼性向上と併せて、合理化を行い、低コスト化を図った。以下にその概要を示す。

客先での設置場所の制限を緩和するため、外形寸法変更、作業性を向上するための通信線接続端子変更、保守点検を容易に行うための中扉の廃止、更に使用部品の見直しなどのさまざまな改良を行った。

その結果、親局装置の性能および信頼性の向上と合理化を行うことができ、また、コストダウンが実現できた。

## ■ 親局装置の基本機能

- 遠隔監視  
子局からの情報による配電線系統状態の把握(配電線の充停電状態、計測値、配電線故障有無などをCRT表示)。
- 遠隔制御および遠隔設定  
開閉器の入/切や子局のリレー使用/除外などを制御する。また、子局のリレー種別、X時限などを設定する。
- 印字  
系統の状態変化/故障の発生およびオペレータの操作履歴などの自動印字、また、停電区間/故障状態一覧などの印字。
- 設備データメンテナンス  
変電所や配電線の工事により、配電系統が変更になった場合にその設備情報をデータベースに登録する。
- シミュレーション  
開閉器入/切制御、設備データメンテナンス作業などの操作訓練ができる。また、FCBの入/切操作により、系統の時限投入による伝搬シミュレーションができる。

## ■ 従来品との比較

項目	従来タイプ	統一仕様タイプ
CPU性能(SPECint95)	2.1	22.4
操作卓外形寸法	W(2400) × D(1200) × H(760) mm	W(2200) × D(1200) × H(760) mm
信号伝送装置外形寸法	W(700) × D(700) × H(2350) mm	W(700) × D(700) × H(2150) mm
価格比	100%	約40%



■ 操作卓の外観